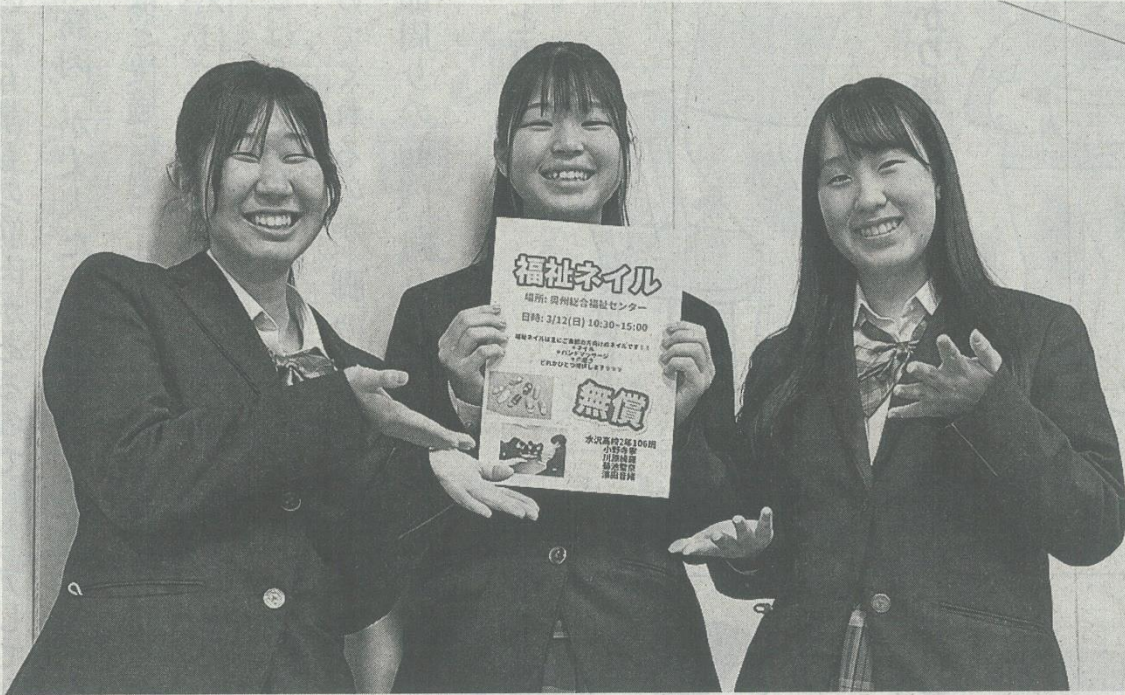


福祉ネイル広がり

奥州・水沢高の4人活動



福祉ネイルの普及に向けて活動するメンバー

水沢高2年生4人は高齢者や障害者などにネイルを施す「福祉ネイル」の普及に力を注いでいる。12日は奥州市内の公共施設で年齢、性別を問わず無償で施術する予定で、「福祉ネイルと、その活動に取り組んでいる人々のことを知ってほしい」と力を込める。

メンバーは小野寺聖さん、川原綺羅さん、菊池聖奈さん、浜田音緒さん。総合的な探究の時間で美容に興味を持ち、集まった。取り組むテーマを模索する中、インスタグラムで福祉ネイルの存在を知った。北上市の福祉ネイリスト後藤智子さんを訪ねて話を聞き、理解を深めた。

昨年11月に奥州市内で募金活動を展開して資金を募り、速乾性の高い10色のマニキュア

手に触れ会話 温かく 市内で12日 無償施術

アを購入。2月に同市内の温泉施設で初めて施術し、施設利用客らの爪にマニキュアを塗った後、絵の具で花や動物を描いた。

小野寺さんは「施術した人が」デイサービス利用時にみんなから褒められたと知り、うれしかった」と振り返り、菊池さんは「手に触れながら会話をし、温かさを感じた」とほほ笑んだ。

4人はこれまでの活動を同校や市のフォーラムなどで発表し、福祉ネイルについて発信。浜田さんは「仲間と共に目標達成に向けて考え、思考力や協調性も身についた」とうなずき、川原さんは「年齢などを理由にネイルをしにくいと考える人もいるので、福祉ネイルがもっと広がってほしい」と願う。

12日は奥州市水沢の市総合福祉センターで行い、午前10時半〜午後3時。福祉ネイル、爪磨き、ハンドマッサージのいずれかを無償で行う。

(鈴木広野)